

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

ムダな大型公共事業ではなく

身近に必要な事業を

安倍内閣が打ち出した緊急経済対策は国と地方を合わせて総額20兆円です。中心は公共事業で今年度補正予算案では4兆7千億円もつき込まれます。

政府は、高速道路や高規格道路、空港、港湾など民主党政権のもとで凍結されていたものの復活が中心です。しかし、建前は減災・防災など必要な予算の積み上げだと強調して

います。

国交省のホームページに補正予算の概要が紹介されていますが、それによると「復興・防災対策」「暮らしの安心・地域活性化」「成長による富の創出」の3分野を重点として必要な経費を積み上げるとし、「安全を徹底調査・総点検していくインフラ再構築の取組」

各自治体が老朽化した橋梁建設や道路・歩道などの維持補修、護岸工事などを総点検して、予算がないといって先送りしたり、削ったものを優先して整備すべきではないでしょうか。

大型道路より身近な道路の維持補修を

市内には清川橋のような老朽化した橋や狭く危険な市道、通学路へ対応や観光を含めて成長・地域活性化に取り組みとしています。

後回しにされていた事業を前倒して実施を

今年度補正予算です。から、県・市町村で年度内に予算化されなくてはなりません。

国交省が景気対策として今年度補正予算案に、地方自治体管理の道路を対象に、点検や修繕に特化した補助金



シートで応急手当。上には住宅(南川)



挨拶する新井市議

今年こそ建設業者の要求前進を

埼玉土建飯能日高支部新春のついでに

埼玉土建飯能日高支部の新春のついでに、1月20日に土建事務所にて行われ、全体で41人、共産党からは飯能市議団4人と伊藤勉日

高市議が参加しました。冒頭、飛山支部長から「建設職人の賃金単価は毎年下落してしま

現在、埼玉土建では「現場から仲間を上げよう」を合言葉に2月29日まで「春を呼ぶ特別期間」という組織拡大に全力で取り組んでいます。

高市議が参加しました。冒頭、飛山支部長から「建設職人の賃金単価は毎年下落してしま

また、当日は、新春の限りを尽くしてきた沼辺市政の内部矛盾が噴出したもので自業自得の態です。落城寸前の沼辺市政を前に、議会は「議員定数削減」よりも他に果たすべき役割があるのではないのでしょうか。



危険を知らせる標識



老朽化した清川橋

日本共産党演説会

暮らしと営業を応援する
市政の実現をめざし
飯能市議選で4議席確保を

3月23日 (土)午後7時

飯能市民会館小ホール

お話し

衆議院議員 塩川てつや
市議会議員 金子としえ
市議会議員 山田とし子
市議会議員 新井たくみ
市議会議員 滝沢おさむ

日本共産党飯能市委員会・同後援会

波紋

飯能市の副市長が一月末をもって辞職するとい

3月定例会市議会を前にしてこんなありとつのが率直な感想です。副市長は市長の女房役ともいわれ、市長が欠けたときにはその職務を代行する重要な役割を担っています。新年度予算編成でも副市長は事務を統括する重要な役割を果たしてきた筈で、その副市長が突然辞めるなどというのはありえないことです。こんなことで三月市議会にのぞむことができるのか、まっとうな市政運営ができるのか多くの市民が疑問に思っています。問わなければならないのはこのような事態を引き起こした沼辺市長の責任です。見方によっては悪政の限りを尽くしてきた沼辺市政の内部矛盾が噴出したもので自業自得の態です。落城寸前の沼辺市政を前に、議会は「議員定数削減」よりも他に果たすべき役割があるのではないのでしょうか。

議員定数削減問題

飯能市の議員定数は多くない

1月18日に野田直人市議が提出した議員定数を5名削減して16名とする条例案が議会運営委員会で審議され、賛成少数で否決すべきものとして、29日の臨時議会に報告されます。

しかし、「2〜3名の削減」という火種もくすぶっています。委員である新井たくみ市議は、定数削減の問題を指摘しながら質疑しました。

自治連が出した要望は市民の総意か？

野田市議は、「自治連から議員定数を大幅に削減するよう求める要望書が提出されたから」と5名削減の根拠を説明しています。

自治連がこの問題を議論したのは、11月1日の支部長会議です。議事録を読んでみると、報酬を減らして議員を増やす考えもあるのではないかと、このように要望書を自治連として出すべきなのかなど重要な事項があるので支部に持ち帰って話し合いたい。などの意見が出されたが、会長は、「12月議会に提出するためには、急を要することであり、支部長権限で決定してよい

と思う」として一支部長を除く10支部長連名で提出したのです。

新井市議は、「このような決定経過を知っているか」と質疑しましたが、「そのようなことは知らない」と答えました。

人口割で比較している。要望書は、所沢、狭山、人間の議員一人あたりの人口で比較し、飯能市の議員数が多いとしていますが、せめて同規模の自治体との比較でなければ無理がありません。

議員定数比較

	人口規模	定数
全国平均	5~10万人	22.7人
埼玉平均	8万人台	21.6人
飯能市	8.2万人	21人

	自治会数	民生委員数	民生委員一人あたり人口
飯能市	135	164	500
人間市	124	250	596
狭山市	124	243	634
所沢市	281	493	690

重要な事項なので支部に持ち帰って話し合いたい。などの意見が出されたが、会長は、「12月議会に提出するためには、急を要することであり、支部長権限で決定してよい

飯能市はたくさん谷津が多く長い

新井市議は、野田市議が本会議で、「飯能市は面積は広いが可住地面積は大きくはない」と答弁してきたことに、「飯能市は谷津も多くそこに住んでいる集落も多い。だから自治会数も135にもなり、人間、狭山市の124よりも多い。そうしたことから民生委員数等も人口割ですると狭山、多い」と指摘しました。

議員が少なくなれば、多様な市民の声は遠のき、チェック機能が弱まれば、様々なムダ使いや癒着が生まれることも懸念されます。

新井市議は、「全国の同規模の市で全国や県の平均を示して、飯能市は決して多くはなく、全国の平均より、1.7人、0.6人少ない」と指摘しました。

削った財源を福祉にとは言いつれど

加添議員は賛成討論で「定数削減でできた財源を福祉などに使ってほしい」と言っていますが、国保税の引き上げ、介護保険料の値上げ、後期高齢者医療保険料の値上げなどに賛成討論までして賛成し、市民団体から出された子ども医療費完全無料化を求める請願には、執行部の言い分をそのままに、財政が苦しいからと反対討論までして反対するような姿勢では、「説得力がない」と言えるのではないのでしょうか。

岩沢 汚水中継ポンプ場が完成

19日、岩沢運動公園の北側に建設を進めていた岩沢汚水中継ポンプ場が完成し竣工式が行われました。

この施設は岩沢南部・北部地区の区画整理を含む岩沢地区の下水道を阿岩橋まで送る施設で将来的には双柳南部区画整理地内や浅間地

区の下水道も取り込まれます。処理対象範囲は約224ha、8000人分の汚水を送水する能力を有することになります。飯能市の下水道普及率は63.6%（23年4月1日現在）となっており、人間市87.0%、狭山市94.1%などと比較すると

お風呂が入れない

総合福祉センターのボイラーが壊れてお風呂に入れられないという声がありました。

福祉センター利用者から、「11月頃から時々お風呂に入れなかったが12月中旬から完全に入れなくなりました。無料で利用させてもらっていて恐縮ですが、市にはお金がなくて直せな声があるのか」と言う福祉センターに状況を聞きました。

「建設当初から設置したソーラーとボイラーが大きく立ち遅れています。整備の遅れの一つには区画整理事業に合わせて同時に整備を進める事とされていた事が大きな要因となっていました。」

岩沢南北地区の事業見直しにより現道を生かした整備を進める事になりました。

現在、元前原団地脇の市道で汚水幹線の工事が進められています。さらにその延長を

（ガス）で対応してきたが、ソーラーの方が壊れ、この間、ボイラーだけで対応してきた。しかし、とうとう壊れてしまった。建設から24年、老朽化した配管から水漏れがあり、配管の付け替えが必要になった。24日に、メーカーの昭和ボイラーに来てもらうのだが、ボイラーを交換するのではないため直るかどうかわからない。動かしてみても様子、ボイラーを交換するとなると千万単位のお金が必要になる」とのこと。寒い日が続く中、一日も早く入れるようにしてほしいものです。



岩沢ポンプ場

早期に図り各家庭への枝管整備も進め住民が下水道を利用できる環境整備が求められています。